指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	荒川いこいの家	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	株式会社 共立メンテナンス	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日（3年）	評価者（課長）	冨樫 孝平

①事業実績

利用実績	延べ利用人数 7，676人
サービス向上の取り組み	新サービスの提供及び既存サービスの改善・強化

②管理経費　（単位：千円）

区分		前々年度（24年度）	前年度（25年度）	当該年度（26年度）	合計	備考
収入	指定管理料	5,920	5,927	5,996	17,843	指定期間における指定管理料の総額：17,843,000円
	利用料金	2,255	2,657	2,299	7,211	利用料金、ゆったりチケット分
	自主事業収入		10	11	21	
	その他	16	23	44	83	自販機設置手数料
	計	8,191	8,617	8,350	25,158	
支出	管理経費	7,495	7,699	7,948	23,142	
	（うち人件費）	3,997	4,199	4,557	12,753	
	（うち光熱水費）	1,016	1,346	1,267	3,629	電気、水道、燃料
	（うち修繕費）	15	146	210	371	給湯器他
	（うち委託料）	503	354	380	1,237	委託料、リース料
	（うちその他）	1,819	1,652	1,534	5,005	保険、消耗品、電話料金、温泉使用料、入湯税他
	自主事業費					
	計	7,495	7,699	7,948	23,142	
差引		696	918	402	2,016	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 施設の維持管理を適正に行い、良好に運営を行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 障がい者施設と連携したサービスを取り入れ地域貢献している。また、接遇マナー講習を実施し、職員の資質向上に努めている。衛生面での管理も適切に行っており、予防対策を実施している。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	5	8.0
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	（評価理由） 施設運営経費の削減において、職員の努力が伺える。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	（評価理由） 安全運転研修・接遇研修・防災訓練・ＡＥＤ・救急救命講習会・個人情報保護研修等を開催し職員のスキルアップを行っており、適切な運営を行っていると認めます。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	5	4.0
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	5	4.0
	（評価理由） 少々の不具合箇所は職員で修繕している。浴槽清掃では毎日消毒するなど衛生面では特に注意している。防火管理者を定めて、定期的に避難訓練を実施し、非常警報装置や消火設備の点検を行っている。また、小規模の施設であるため、目が行き届きやすく、不審者の侵入防止のため声掛けを心がけており、適切な維持管理を行っている。				

④総合評価

評価点合計	84.0	評価ランク	A

⑤管理運営に対する全体的な評価

限られた予算の中で、経営に節減を心がける努力が見られ、避難訓練や救急救命講習などを実施するなど安全意識も向上してきており、適正かつ効率的に運営していることが認められる。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

記入要領

・「評価段階」は5段階（5～1）により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満